

課題解決に資する提案等まとめ

〔区の特徴〕

- 日常生活に自転車が切り離せない／平坦な土地で利用しやすい。台数が非常に多い。(1家庭で複数台所有するケースも多い)
- 多様な区民の存在／転入者と従来からの住民、多世代、外国人、障がい者など→相互の理解が今後のまちづくりのカギ、特定の層を悪者にしない。
- 短時間利用(買物など)の自転車(駐輪)対策が課題／対応に苦慮。商店街にも配慮した対策が必要。(路上陳列等と併せて対応)

検討のポイント

- ・区の特徴や現状(中原区らしさ・特徴)
- ・区民会議の取組として(意義や妥当性・効果)
- ・緊急性・優先性(深さ、適した機会・時期)
- ・実現性(担い手・費用・手段等)
- ・話題性(当事者性、ニュース性)
- ・共感性(やってみよう、やってみよう)

検討経過		
課題分野	課題・発生個所	解決の方向性、取組の例や案など
自転車に起因する交通事故	<ul style="list-style-type: none"> ■自転車危険運転・違反運転 …信号無視・夜間の無灯火・スピード等 ■事故の増加・深刻化 …多額の賠償金、未成年者の事故等 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の取組の周知・徹底 交通安全教室・活動の浸透、広報強化 ・自転車保険加入の奨励・促進 TSマーク、PTA等での保険加入奨励 ・事故事例等の広報
ルール …法令、警察取締 →周知 取締	<ul style="list-style-type: none"> ■駐輪場利用促進…買物客一時利用等 ■自転車の安全・安心通行環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場の整備・拡大 ・課題箇所マップづくり 多世代の参加によるワークショップ
	<ul style="list-style-type: none"> ■路上駐輪…歩道・点字ブロック上等 →平間駅周辺:ガス橋～小杉方面他 ■路上陳列…歩道占拠・通行妨害 →区内商店街など 	<ul style="list-style-type: none"> ・花壇、ガードポール等 設置による駐輪防止
マナー …思いやり 譲り合い 相互理解、共存、常識、他者配慮 →啓発 普及	<ul style="list-style-type: none"> ■ルールの周知・認知の拡大 ・携帯・傘等の「ながら運転」 …違法性の認知がない場合も多い ・自転車=(軽)車両の意識がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の活動の浸透・広報強化 ・高齢者向け自転車安全教室 老人会等 ・自転車安全運転者証の発行／市やボイスカウトの取組／講習会／特典等
	<ul style="list-style-type: none"> ■通行マナー …並列通行、「ながら運転」 …大人(親・現役・主婦等)、中高生 ■ながらスマホ…歩行、ベビーカー等 ■自転車マナー…過速度、歩行者無視 ■ベビーカーのマナー…スピード、並列通行 ■通勤・通学時の混雑・危険運転等 →保育園の送迎、出勤(小杉駅周辺等) ■マナーを“知らない”人・子ども 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車マナー教室の開催 幼保参観日等、家庭教育学校、小中学校成人委員会、町内会等 ・SNS等を活用したアピール 中高生向け ・ベビーカー利用のマナーソフットの作成、配布 配布は健診時などを活用 ・マナー喚起用の看板の設置 ・啓発標語の選定と活用
環境の未整備	<ul style="list-style-type: none"> ■自転車通行帯表示の断絶・不明瞭さ ■安全・安心な歩道の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車通行帯・案内の整備・充実 ・循環型ミニバスの検討

取組提案

○優先的に取り組むもの／交通マナー・ルール普及・啓発を目的として、できることから取り組む

取組①交通ルール・マナーの学習機会の強化・拡大

- 世代や対象に応じた啓発機会の拡大…老人会や保護者参観日に交通安全教室、講習などを開催
- スケード・ストリート方式の交通安全教室の拡大…地域住民等の体験機会の拡大、内容の映像化・資料化、事業所等への協力依頼や連携、既存のイベントとの同時開催など

取組②「みんなで育てる交通マナー」啓発資料の作成・活用 ※中原区らしさ・わかりやすさ・読まれやすさを重視、イラスト等を効果的に

- 啓発標語の募集、ポスターコンテスト等の開催
・参加型・公募型による標語募集、既存の作品集(まちづくり推進委員会のマナー・モラルアップ事業)やコンテスト等との連携など
- 啓発資料の作成
・入選作品を啓発資料として活用→しおり・マグネット・カレンダー・路面表示など、“残る”形式を検討
・学校や区民の集まる場→イベント等を活用して配布
- ベビーカー利用のマナーや周囲の配慮・啓発資料の作成…ベビーカーが安心して通行できる環境づくり(国交省委員会資料の活用)
・利用者マナーの啓発資料の作成→子育て広場、健診等の場で配布、周囲の配慮・啓発資料→駅周辺街頭・施設・商店等で掲示

○拡大を目指して取り組むもの／さらに多くの区民に取組を広げ、「みんな」で交通マナーを育む

取組③「みんなで育てる交通マナー」キャンペーン・イベント

- 普及啓発を推進するためのしくみづくり・キャンペーンの展開
・サイクルの日(3・19)、二輪の日(20)等の設定による定期的な意識づけや強化期間の設定、一斉活動の展開、広報大使の起用など
- 発表・交流の場の創出
・既存のイベント等での出展やステージ発表等の展開、区民祭、区民会議市民報告会等の「場」の活用、取組体験の機会の創出
- 自転車安全点検などの実施
・イベント等での“自転車安全点検”(タイヤ・ブレーキ・ライト等)の実施→「点検済」「安全運転宣言」などの啓発シール等の配布(※自転車販売業者、自転車保険会社等と連携)

○その他(機会を捉えて実現を図りたい取組)

- 交通安全マップづくり…多世代の参加するワークショップによる地域の交通課題(交通事故の多発地点、危険地点)の発見や共有
- 様々な広報・啓発資料の作成…動画の記録や作成と公開、バス車内や区役所でのアナウンス など
- 駐輪環境の整備等…花壇やガードポール設置→駐輪防止、民地活用の一時駐輪場設置(参考:茅ヶ崎市軒下駐輪場)
- 自転車安全運転者証…自転車点検や自転車保険、交通安全の講座等で認定→魅力的なデザイン、証明書の権威付けや特典付与も検討(※警察等の関係機関との連携)

コミュニティバス・循環型バス…出された意見などのまとめ・課題の整理→報告書に掲載

「地域コミュニティ、みんなで育てる交通マナー ～歩きやすいまちに～」

- ①「地域コミュニティ」の活性化・連携 ②「みんなで」(多様な区民が共に)取り組む ③「相互理解、マナー、思いやり」を育む ④「歩きやすく、住みやすいまち」の実現